

事業評価シート（平成24年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	子ども読書活動推進事業		
事業担当	社会教育部 中央図書館		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'01	①〈地域力〉 地域組織や市民活動の力を育て、まちづくりに活かす	
	'03	3 地域社会で家庭や地域の子育てする力を高める	
根拠法令等	子どもの読書活動の推進に関する法律		
対象・受益者	全市民、乳幼児～高校生	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO ○その他】【協働： 各地区の推進協議会】		
目的・目標		事業の概要	
身近なところに本と出会える環境・機会を整えることで、子どもの読書への興味・関心を喚起し、人生をより豊かに生きるための知性や感性がはぐくまれています。		子どもの読書活動をより一層充実するため、各中学校区子ども読書活動推進協議会の協力のもと、家庭・地域・学校・行政とが連携し、平塚市子ども読書活動推進計画（第二次）に基づいて全市的な読書活動を推進します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	子ども読書活動推進協議会設置数			単位	か所
	説明・算定式	設置対象地区：全15中学校区				
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標	15	15	15	15	
	実績	15	15	15		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	小・中学校の読書に関するボランティア数			単位	人
	説明・算定式	延べ人数				
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標	2050	2070	2090	2100	
	実績	2000	2036	2134		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成24年度の主な取組と成果						
子ども読書推進協議会代表者会議を3回開催し、各協議会同士の情報交換の場を設け、また、8月の子ども読書活動推進フォーラム(参加者647人)を開催し、読み聞かせ等の図書ボランティア活動を支援しました。子ども読書ネットワーク運営委員会(11回の会議開催)においては情報誌や協議会運営のための「ハンドブック」作成支援、また、同運営委員会が主催する講習会への講師派遣等により、各協議会の連携と情報共有、互いの支え合いの活動を支援しました。						
平成24年度の検証結果	A：成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	「子どもの読書活動の推進に関する法律」を受け、本市の「平塚市子ども読書活動推進計画」を策定して、これにより行政と地域が連携して行う事業として推進しています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	子どもが本と触れ合える機会の提供、読書に関する環境整備が進むことで、学校だけでなく地域や公民館等あらゆる場で取組みが推進され、子どもや保護者の読書への関心が高まり、活動の満足度が高まっています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	地域・学校・家庭が連携して読書活動を推進するという全国的に見ても先進的な取組みです。事業の実施主体は、市が委託する中学校区ごとの推進協議会であり、職員は活動に対しての支援をしており、妥当です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	市の直接事業でなく、学校や公民館で活動している地域ボランティアによる協議会へ委託していることから、事業コストは最少限度です。費用対効果は高いと判断します。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		<p>「平塚市子ども読書活動推進計画(第二次)」に基づき、子ども読書活動のより一層の推進を図るため、各中学校区子ども読書活動推進協議会の活動を支援するとともに各協議会の連携を図るための活動の支援を進めていく必要があります。</p>		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
事業内容		ネットワーク充実等、計画の推進	ネットワーク充実等、計画の推進	ネットワーク充実等、計画の推進	家庭・地域・学校の連携強化による、より一層の図書ボランティア充実
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	1,391	0	1,295	1,380
事業費 (A)		1,391	0	1,295	1,380
執行率 (%)		92.73	0.00	93.84	
内訳	職員 (人)	1.15	1.40	1.35	1.80
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.25	0.00
人件費 (B)		9,498	11,346	11,671	14,307
フルコスト (A+B)		10,889	11,346	12,966	15,687

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成26年度の取組方針
<p>地域や学校での図書ボランティアの活動において、地域の実情に合った連携強化を進めつつ、図書ボランティアとしてのレベルアップのため、講習を行い、また、読書に関する情報提供を行う等、より充実して活動できるようサポートに努めます。</p>
課長コメント
<p>家庭・地域・学校の連携強化による、より一層の図書ボランティアの充実を図ります。平成24年度から、主管課が社会教育課から中央図書館に移り、催事・展示場所や情報交換の場としての図書館施設の提供、専門職としての司書との直接的な交流やバックアップにより、図書館全体でボランティア活動を支援し、事業を推進していきたいと考えています。</p>